

科目名		英語 (English)							
学年	専攻	単位数	必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数			
第1学年	生産システム工学専攻 物質工学専攻 経営工学専攻	2 単位	必修	演習	前期 100 分/週	90 時間			
担当教員		【常勤】南 優次							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	①英語構文の体系的な理解ができる。 ②テーマに沿った英会話の基本が理解できる。 ③発音やイントネーションに配慮した基本的な英会話ができる。								
学習・教育目標	(G)②	JABEE基準1(2)	(f)						
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「アメリカ口語教本・中級用」W.L.クラーク著(研究社)								
補助教材等									
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
	総合評価割合	40	40		20				100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	○	○		○					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【 】	◎	◎		○					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>本校指定の外部資格であるTOEICの500～750, 英検の2級～準1級レベルの教材である。 実践的な会話能力養成を目指すので、シャドーイングが自然にできるまで反復練習することが必要である。 また、TOEIC公式HP及び英検公式HPでは、英語学習者サポートアプリが充実している。 講義の中で、TOEIC及び英検がHP内で案内する英語学習スケジュールリングサポートページを紹介するので、 本校の情報インフラを十分に活用して、TOEIC及び英検を受験する準備を効率的に進めることが必要である。</p>									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス・はじめに Unit1・2 What's New?	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 Let's, Shall Iの使い方を理解できる。	予習として、Unit1・2のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
2	Unit3・4 What's your major?	some, any, no, each, every, 否定表現の使い方を理解できる。	予習として、Unit3・4のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
3	Unit5・6 It's fun to play mahjong.	before, after, next, last, let, make, fun, difficult, nice, important, 否定疑問文, 定冠詞の使い方を理解できる。	予習として、Unit5・6のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
4	Unit7・8 A modern home	付加疑問, 複合名詞の強勢, 副詞, graduate, marryの使い方を理解できる。	予習として、Unit7・8のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
5	Unit9・10 Micky's honme town	関係代名詞, who, home, both, tell about, like, remindの使い方を理解できる。	予習として、Unit9・10のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
6	Review Work Unit1～5	各UnitのセクションⅣにでてくる発音(母音, 二重母音, 流音, 摩擦音, 鼻音, 強勢, イントネーション)を理解できる。	予習として、Unit1～5のセクションⅣの概要を理解しておくこと。
7	Review Work Unit6～10	各UnitのセクションⅣにでてくる発音(母音, 二重母音, 流音, 摩擦音, 鼻音, 強勢, イントネーション)を理解できる。	予習として、Unit6～10のセクションⅣの概要を理解しておくこと。
8	Unit11・12 Some interesting kinds of art	most, some, none, no, almost, speak, tell, say, talk, ask, find, move, remove, I'm sorryの使い方を理解できる。	予習として、Unit11・12のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
9	Unit13・14 Hiking and Hitchhiking	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 間接疑問・動詞句の使い方を理解できる。	予習として、Unit13・14のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
10	Unit15・16 Some interesting kinds of art	most, some, none, no, almost, speak, tell, say, talk, ask, find, move, remove, I'm sorryの使い方を理解できる。	予習として、Unit15・16のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
11	Unit17・18 Two kinds of Education	before, after, tell, teach, show, next door, be born, have trouble, discuss, get along withの使い方を理解できる。	予習として、Unit17・18のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
12	Unit19・20 A full scholarship	either, too, neither, so, then, already, yet, still, anymore, hurry, enjoy～ing, anotherの使い方を理解できる。	予習として、Unit19・20のセクションⅠ・Ⅱ・Ⅲの概要を理解しておくこと。
13	Review Work Unit11～15	各UnitのセクションⅣにでてくる発音(歯擦音, 無声, 両唇破裂音, 強勢)を理解できる。	予習として、Unit11～15のセクションⅣの概要を理解しておくこと。
14	Review Work Unit16～20	Unit1～10のセクションⅣにでてくる発音を理解できる。	予習として、Unit16～20のセクションⅣの概要を理解しておくこと。
15	Review Work Unit1～20	全体のまとめと授業改善用のアンケートを実施する	予習として、Unit1～20のセクションⅠを理解しておくこと。
総学習時間数			90 時間
講義			50 時間
自学自習			40 時間